

知事 補正予算の専決処分

全国的な風しんの感染拡大を受け、任意の予防接種の接種者数が急激に増加しています。

その結果、定期接種で主に使用されている「麻しん・風しん混合ワクチン」が不足することが懸念されています。

そのため、ワクチン不足の回避を図る上から、接種の優先度を判別するための抗体検査を実施することとし、それに要する経費が7月3日付けで「風しん抗体検査緊急対策事業」として専決されました。

予算額は41,954千円で、県内在住の妊婦の同居者、妊娠を希望される方又は妊娠の可能性の高い女性及びそれらの同居者。

実施期間は平成25年7月4日から12月27日までで、県内各保健所と指定医療機関（医療機関名は7月中旬頃公表）で実施されます。

県が想定している対象者は9000名余りということです。